



賃金上げれば円安に!?!?

何で円高に?

日本の輸出競争力が強いと円高になる。円高になると、輸出先国での値段が高くなるので売れない。

そこで値段を下げる

日本では労働者を派遣に置き換えて、労賃のコストダウンで値段を下げる。すると、再び競争力が強くなり、円高。つまり「コストダウン↓円高↓コストダウン↓円高」の「円高いたちごっこ」に陥っている。

何故円高に?

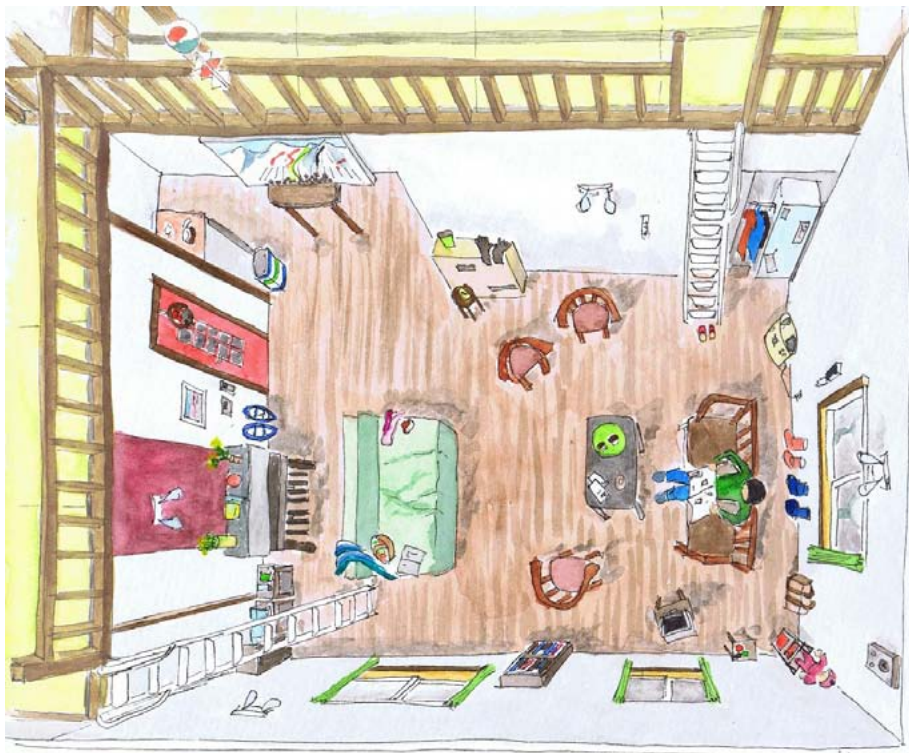
「円高」とは言うなれば「日本の商品は安過ぎる」と輸入国の側で、為替レートを調整して、日本の商品の値段を上げているのだ。だからコストダウンす

ればするほど、円高が進むのは当たり前。(ただ、中国は「元」の変動幅を狭く固定。「円高」にならないが、それを続けられるか?)

円高から脱却するには

コストダウンで洪水のように輸出するやり方を改めれば良い。まず、賃金を引き上げ値段を引き上げること。それでは日本の商品が売れなくなる・・・一時はそうかも知れない。しかし、前述の「円高いたちごっこ」の理屈を考えれば「この為替レートでは日本の商品は高すぎる。円安にしなくては・・・」となるので?又、賃金が上がれば国内の需要も増える。ヨーロッパ諸国ではそうなっているのではありませんか? 皆さんはどう思われますか?

友人の別荘



二月に友人の招きで雪国の別荘を訪問した。

この冬は大変雪が多かった。暖かい別荘からスノーシューを着けて、周辺の森にでかけた。夏は草木が生い茂り歩くこともままならないが、冬は全てが雪の下。自由に歩くことが出来る。

しばらく行くと、テンだろうか?雪の中に細い溝のような踏み痕があった。それを追って行くと、細い深い足跡が交差。カモシカのようにだ。友人はしばしばカモシカを目撃しているという。

カモシカの足跡を追うと、鋭角に曲がっている。何と、そこにはピーナツ位の黒い糞が山になっていた。

友人は兎も目撃していると云うが、この日は見られなかった。